

マイコミジャーナル

スマホで
「WiMAX」
といえば
HTC!



5人のライターがその魅力を
徹底検証



HTC EVO WiMAX

Android **au**
—Google—

- 01 スマートフォン初体験!「HTC EVO WiMAX」で広がるライフスタイル
- 02 スマホから「HTC EVO WiMAX」に乗り換えてみました
- 03 「HTC EVO WiMAX」でWebサービスを使いこなす
- 04 ビジネスシーンで使う「HTC EVO WiMAX」
- 05 ヘビーユーザー視点で「HTC EVO WiMAX」をチェックする

htc
quietly brilliant

5人の
ライターが
その魅力を
徹底検証!

日本初[※] WiMAX 搭載スマートフォンは HTC



その速さを体験した人の数だけ、オドロキと、ヨロコビの声が聞こえてくる。

2011年4月にau(KDDI)からHTC製の最新スマートフォン「HTC EVO WiMAX ISW11HT」が発売され、注目を集めている。

HTC EVO WiMAXは、約4.3インチの大型ディスプレイや約800万画素カメラを搭載したハイスペックなAndroidスマートフォンで、国内で初めてWiMAX回線と3G回線の2種類の通信に対応した点が特徴。下り最大40Mbps/上り最大10Mbpsの高速なWiMAXとエリアの広い3Gをシーンに応じて使い分けることが可能で、ストレスフリーの通信環境を実現できる。加えて、端末本体をポータブル無線LANルーターとしても利用できるテザリング機能も備え、HTC EVO WiMAXのWiMAXまたは3Gのネットワークを利用して、無線LAN対応の携帯ゲーム機やノートPCでインターネットが楽しめる。

さらに、料金プランもリーズナブル。従来のauスマートフォン向け料金プラン・パケット定額プランに月額を525円追加するだけで、WiMAX通信が利用可能だ。しかも、8月利用分までその月額525円が無料になるキャンペーンも実施している。

こんな多くの魅力が詰まったHTC EVO WiMAX ISW11HTをマイコミジャーナルで活躍する5名のライターが独自の視点でレビューした。スマートフォン初心者からハイエンドユーザーまで楽しめる内容になっているので、是非とも御一読いただきたい!!!

初心者でも アプリ使いまくりです!



writer_ 堀山みみ子

都内のメーカーに勤務する20代女性。HTC EVO WiMAXが初スマートフォン。今では置きあれば面白いアプリを探している。本稿では、女子自慢でオススメできる便利な機能やアプリを紹介。

HTC EVO WiMAX X スマートフォン未体験ケータイユーザー

スマートフォン初体験!! 「HTC EVO WiMAX」で広がるライフスタイル

HTC EVO WiMAXでスマートフォンデビューしました。現在使っているケータイでもできることはたくさんあるので、正直「スマートフォンは必要ないかな」と思っていたのですが、実際に使ってみると「便利!!」のひとつ。一度この快適さを体験してしまうと、もう後戻りはできません。

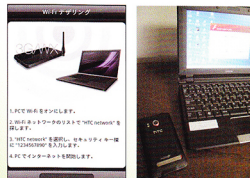
大きなディスプレイで快適操作!!

まず驚いたのは画面の大きさと鮮明さ。4.3インチの大きなディスプレイで表示すると迫力が全然違います。ボディのサイズは、手に持った際に「ちょっと持ちづらいかな?」と感じるレベル。ケータイジョブに並ぶ他のスマートフォンと比べるとそれほど大きくないですし、周りの友達も大きなスマートフォンを使っている。それほど楽になりません。ケータイをポケットに入れて持ち歩く女性に少ないので、ボディの大きさはそれほど問題にはならないかと思えます。



ボディはツヤ消しの落ち着いたブラックです。画面の下にはホーム、メニュー、戻る、検索の4つのボタンがあります。裏面のスタンドは、YouTubeなどの動画をみることに便利

HTC EVO WiMAXの通信回線を使って、無線LANに対応したPCやゲーム機をインターネットに接続できる**テザリング**機能も便利です。HTC EVO WiMAXが1台あれば、ノートPC専用のデータ通信力を購入せずにインターネットが利用できます。



HTC EVO WiMAXと無線LAN対応のノートPCがあれば、出発で作成したWordファイルもメールで送信可能

女子目線で便利なアプリを紹介

続いて「便利だな」と感じたアプリを紹介していきます。ここで紹介するアプリはどれも説明書はないですが、スマートフォン初心者の私でも「助」で使うことができました。まずは、プリンストールされている**「Google マップナビ」**。このアプリの便利点とは、紙の地図をぐるぐる回す感覚で、いま自分が向いている方向に合わせて地図を自由に回転できるところ。Googleマップを使えば旅先の初めての街でも安心です。



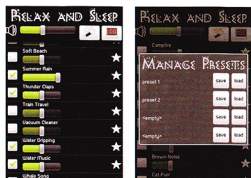
Google マップでは、現在地から目的地までナビしてくれます

カメラアプリで写真を撮り、Twitterでコメントを添えるのがマブームなので、無料のカメラアプリ**「Retro Camera」**を使ってみました。このアプリは、インスタントカメラ風の写真を撮影できるアプリです。簡単に雰囲気のある写真を撮影できます。



ホーム画面で撮影した写真は、仕上がりインスタントカメラ風になります

続いてオススメするのが、快眠のためのアプリ。**「Relax and Sleep」**は、心地良いノイズを出してくれるアプリで、これは寝るために聞くというよりも、寝る準備段階でリラックスするのみに使いたいですね。部屋の電気を一段暗くして、アロマキャンドルを焚きながら聞くとうれいかもしれません。

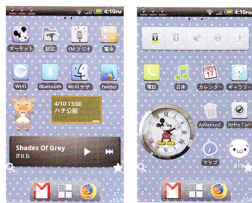


Relax and Sleepでは、複数のノイズを同時に再生することも可能です

好みのノイズが作成できたら保存することも可能です

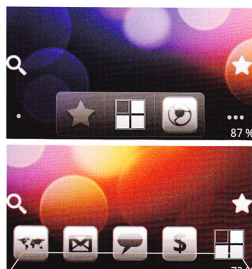
ホーム画面のカスタマイズに挑戦!!

HTC EVO WiMAXでは**ホーム画面**を好みのものにカスタマイズできることなので、さっそく試してみました。ホーム画面とは、電源を入れたときに表示される待ち受け画面のことです。



私が作成したホーム画面。今回は、ホームアプリの「Open Home 6」とアイコン「Icon Pack-Tenus」「Icon Pack-Sticker」を使用して、使いやすく可愛いホーム画面を目指してみました!

ホーム画面の下部には、常に3つのアイコンが表示されています。真ん中のアイコンはアプリ一覧を開くためのもので、両端には好きなアプリを登録できます。私は使用頻度の高いメールとインターネットブラウザのショートカットを登録しておきましたが、電話やSkypeのアプリを登録する人もいるでしょうね。また、3つのアイコンの右上には皇マークがあります。ここを押すと、新たに複数のショートカットが登録可能になります。



星マークを押した後の画面には最大で5個のショートカットを追加できます



体験後記

いかがでしたでしょうか。みなさんのホーム画面も、見違えるほど華やかだと思います。ホームアプリは様々な種類がありますので、怖がらず、あれこれ試してみてもオススメです。慣れてくれば、きっと部屋の模様替えをするような感覚で楽しむことができるようになりますよ。ホーム画面のカスタマイズ方法はWeb上の体験記で詳しく解説しています。

もっと詳しく→



大きな画面でインターネットが! WiMAXでストレスなしの速さ!



HTC EVO WiMAX × 他のスマートフォンからの機種変更ユーザー

スマホから「HTC EVO WiMAX」に乗り換えてみました

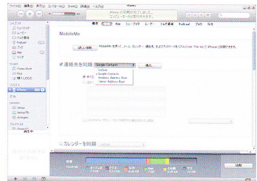
スマートフォンの登場からしばらく経ち、機種変更が「スマートフォン→スマートフォン」という人も増えてきているのではないだろうか。しかし、同じAndroidケータイでも機種によって特徴が異なるし、OSが違うiPhoneユーザーには戸惑うところも多そうだ。そこで今回は他のスマートフォンからHTC EVO WiMAXへの乗り換えを考えている人に役立つ情報をまとめてみた。



HTC EVO WiMAXは画面が広く裏面パネルのグレアが強いので、手鏡としても密かに高性能。アイメイクは難しいが、リッパロスや前髪を直す際には問題なく使える

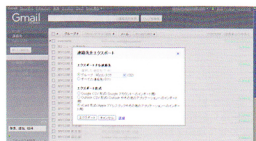
アドレス帳は移行できるのか?

まずは気になる、端末に保存された**アドレス帳の移行**について。Googleアカウントを様々なサービスのベースにするAndroidケータイでは、セットアップ時にGoogleアカウントを登録することで、Gmailの連絡先を自動的に取り込むというのが基本的な使い方。これまでAndroidスマートフォンを使用していた人なら何の手間も無く普通にセットアップするだけで、iPhoneから乗り換える場合は、まずiTunes上でiPhoneの連絡先データをGmailのアドレス帳と同期させておく必要がある。



iTunes側でGmailの連絡先と同期させる

ただし、同じ人の連絡先をGmailではメールアドレスだけ、iPhoneでは電話番号だけで登録していた場合や、名前の表記が異なる場合などは、それぞれ別の連絡先と認識され登録が重複してしまうことになるので注意が必要。それを選けるためには、Gmailから必要なものをピックアップしてHTC EVO WiMAX本体に通話専用の連絡先を保存するの一手手段だ。



Gmailの連絡先から必要なものをvCard形式でエクスポートし、それを端末側で読み込む

写真は一気にクラウド化するチャンス

写真のデータは何らかの方法で内蔵のmicroSDカードへ保存すれば、標準搭載のギャラリーで閲覧することができる。だが今後のことを考えると、端末ローカルへの保存をやめてすべて**クラウド**に入れてしまうのが良いかもしれない。写真をいったんPCに保存し、写真加工・管理ソフト「Picasa」を使って「ウェブアルバム」にアップロードすれば、カードにデータを詰め込まなくてもブラウザから全ての写真を閲覧することが可能だ。同じように写真管理サービス「Flickr」でもオンライン上で写真を管理することができ、携帯端末から閲覧が可能。



HTC EVO WiMAXのブラウザからPicasaやFlickrに保存された写真を閲覧できる

音楽データの管理も簡単

音楽データも基本的にmicroSDカードへ保存するだけで標準搭載のプレーヤーアプリから再生が可能。**mp3/aac/wma/wav**など様々なフォーマットに対応しており、iTunesのフォルダに保存されている**m4a**形式の楽曲も変換せずに再生できる。そのため、曲のデータはすぐに移行が可能なのだが、iTunes上で作ったプレイリストを移行するには専用のアプリが必要となる。今回は、楽曲やプレイリストなどの情報をアプリから取得

writer 登井美沙乃

幅広いジャンルで活躍する女性ライターで、iPhone/iPad、電子書籍、Webサービス関連の記事を多数執筆。他のスマートフォンからHTC EVO WiMAXに乗り換える際のコツを伝授。

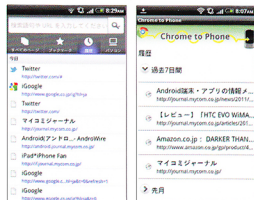
同期するアプリ「iSync for PC」を使用してみた。自動同期設定やWi-Fi接続用アドオンを使用すれば、最小限の手間で同期を維持することが可能だ。



iSync for PCは、端末側にインストールし、PCに接続したら端末の中心にある「Firefox.exe」をPCから実行するという、変わった使い方のアプリ

ブラウザはメインマシンとの連携がカギ

標準搭載のブラウザも動作速度や最適化表示などの部分で特に不満はないが、PCでFirefoxを使用している人ならAndroid版「**Firefox 4**」の導入をオススメしたい。スマートフォンに最適化された表示・操作性に加え、Firefoxらしくモバイル用アドオンによるカスタマイズも可能。何より「Firefox Sync」機能によりデスクトップ版とブックマークや履歴、パスワードなどを同期させることができる。また、Chromeユーザーなら「**Google Chrome to Phone Extension**」を使ってみよう。Chromeで閲覧中の情報を即座にAndroidケータイに送ることができるエクステンション。機動的な情報活用がスムーズに行える。



Firefox 4は、PC版Firefoxにあるブックマークや閲覧履歴などを共有可能。Chrome to PhoneではPCから送られた情報の履歴も表示できる



体験後記

最初にHTC EVO WiMAXを手にした時は「でかくて重くて前」という印象を持ったが、使っているうちに慣れるもので、今では大きな画面を快適に感じる。女性は重さと外観で敬遠するかもしれないが、テザリングなどHTC EVO WiMAXが搭載する様々な機能に期待するから乗り換えて損はない。

もっと詳しく→



HD動画も 話題のWebサービスも サクサク閲覧!!

HTC EVO WiMAX X ケータイ&Webサービスのエキスパート

「HTC EVO WiMAX」でWebサービスを使いこなす

HTC EVO WiMAXの最大の特徴は、auの3G回線だけでなくUQコミュニケーションズのモバイルWiMAX回線が利用できるという点だ。WiMAXの強力な通信により、テキストベースのWebサイトの閲覧はもちろん、YouTubeなどの動画サイト、EvernoteやDropbox、SugarSyncといった話題のWebサービスを快適に閲覧することが可能だ。

快適操作でWiMAXに接続。 繋がらないときは3Gに

はじめにWiMAXがどんな通信サービスなのかというところを解説しておきたい。WiMAXの最大の特徴は、**下り最大40Mbps、上り最大10Mbps**というスピードだ。下り最大3.1Mbps、上り最大1.8Mbpsのauの3G回線と比較すると、下りに関しては10倍以上、上りも5倍近い速度差がある(WiMAX、3Gとは公称速度)。HTC EVO WiMAXでWiMAXを利用する場合は、設定画面にある「無線とネットワーク」から「WiMAX」をオンにするだけ。自動的にWiMAX電波が検索され、エリア内だと接続される。WiMAXが圏外になった場合は、自動的に3G回線に移行し、通信が再開される。



利用開始は無線とネットワークの項目の「WiMAX」にチェックを入れるだけ。ホーム画面にWiMAXのアイコンを設定できるウィジェットを置きたい。

各種サービスの使用感はいかが?

それでは早速、前述したWebサービスを実際に使ってみよう。まずは動画配信サイトの「YouTube」から。HTC EVO WiMAXにはGoogle製の専用アプリが搭載されているので、それらを利用したが、視聴に関しては、試用中はほとんど引かかることもなく、HDサイズの動画も快適に視聴できた。次に動画共有サービスの「Ustream」を試した。Ustreamは、リアルタイムの動画配信を行える動画共有・配信サービス。専用のAndroidアプリが用意されており、こちらを利用し、動画を投稿してみたが、中継の途中で配信が停止することもなく、スムーズに撮影できた。



WiMAXで接続すればYouTubeへのアップロードやUstreamのライブ配信も快適

続いて、「Evernote」を試してみた。Evernoteは、PCやスマートフォンで作成したテキストや画像、音声ファイルをクラウド経由で同期して様々なデバイスからアクセスできるようにするサービスで、PCで作成したテキストや画像をHTC EVO WiMAXで閲覧・編集することができる。

ファイル同期サービスの「Dropbox」もEvernoteと同様に、PCやスマートフォンなど複数デバイスから同じデータにアクセス可能。画像やビデオなどの大きなファイルも高速なWiMAXを利用することでスムーズにダウンロードできる。後述する「Twitter」「Facebook」などのSNSサービス利用時もWiMAXの回線スピードが活躍する。

このほか、ファイル共有やオフィスサービスとして利用されている「Googleドキュメント」も試してみた。GoogleドキュメントもEvernoteやDropboxと同じく、ブラウザさえあればどの環境からもクラウド上に保存したデータにアクセスできるサービス。アクセスしたデータをHTC EVO WiMAXに保存して閲覧・編集することも可能だ。



writer_ 小山安博

フリーランスライター。デジカメ、ケータイ、セキュリティを中心にIT全般に関して執筆。EvernoteなどWebサービス系書籍も手がける。HTC EVO WiMAXで話題のWebサービスを使い倒す。

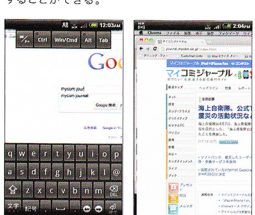


Googleドキュメントは、Androidのブラウザで最適化された状態でデータを表示できる。Googleの各種サービスは、当惑のようにAndroidに最適化されており、ブラウザから簡単に利用可能。

また最準早番となりつつある「Twitter」「Facebook」といったSNSサービスでは画像や動画の閲覧・投稿時にWiMAXの回線スピードが活躍する。

最後に、一歩先行く使い方として、リモートコントロールツールを紹介しておきたい。「Wyse PocketCloud RDP/VNC」は、Windows PCやMacにリモートアクセスできるアプリだ。外出先からHTC EVO WiMAXを使って自宅のPCを操作することができる。

内蔵アプリのFriend Streamを利用すれば、TwitterやFacebookなどの情報を一括表示できる。



PocketCloudでMacにアクセスしているところ。ブラウザでマイコンピュータを表示してみた

WiMAX通信を割安料金で提供

HTC EVO WiMAXは強力な通信機能を充実した端末スペックに加えて、WiMAXの利用料が安いという特徴を持っている。HTC EVO WiMAX向け料金プラン「+WiMAX」は、WiMAX通信を利用した月だけ、**通常の月額料金にプラス525円**をすることでサービスを利用できる。

【利用料】	■WiMAXとCDMA利用時の利用料	■WiMAXのみ利用時の利用料	■CDMAのみ利用時の利用料
【+WiMAX】 月額利用料 (2011年9月 ご利用開始で)	525円 (税込)	525円 (税込)	
パケット通信料	WiMAXおよびCDMAを利用したパケット通信料	WiMAXを利用したパケット通信料	CDMAを利用したパケット通信料
IS7フラットの 場合の合計額	5,985円 (税込)	5,985円 (税込)	5,460円 (税込)



体験後記

WiMAXで接続したHTC EVO WiMAXのWeb利用は非常に快適。動画や画像ファイルのダウンロード・アップロードもストレスなく行える。加えて、安価な料金設定も魅力的だ。これらの強力なWiMAX機能を搭載したHTC EVO WiMAXで、ストレスフリーなWeb利用を楽しんでみてはいかがだろうか?

もっと詳しく→



テザリングと速さで どこでもオフィス!だから、 ビジネスシーンが一新!



writer_鈴木友博

Webサイト各種コンテンツの企画・執筆を行う株式会社ライターズハイを運営、マイコミジャーナルでは、ケータイ・Webサービス関連の記事を執筆。ビジネス視点で、HTC EVO WiMAXをレビュー。

HTC EVO WiMAX X 時代を先駆くビジネスマン

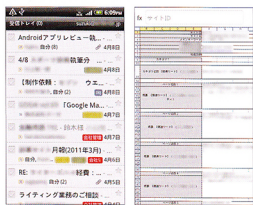
ビジネスシーンで使う「HTC EVO WiMAX」

HTC EVO WiMAXのビジネスシーンにおける活用について紹介する。ビジネスマンにとってHTC EVO WiMAXがどう役立つか知りたいという人、周囲でスマートフォンを使う人が増えてきたが、どこが便利なかわからないという人などは、ぜひ参考にしていただきたい。

Androidの基本機能をビジネスに活用

HTC EVO WiMAXを購入して、最も使うことになるであろう機能のひとつがメールだ。スマートフォンは、PCと同レベルかそれ以上にメールを使いこなすことができる。会社のメールアドレスやPCで使っているメールアドレスをHTC EVO WiMAXに設定すれば、出勤前や外出先でも到着メールを確認したりメールを返信することが可能だ。

また、これまでスケジュール管理で手帳とGoogleカレンダーの両方を使っていた人は、HTC EVO WiMAXを持てば、Googleカレンダーのみでスケジュールを管理でき、手帳を持ち歩く必要がなくなるだろう。



メール機能では、とりわけGoogleのWebメールサービスである「Gmail」が使いやすくなっている。メールに添付されたExcelファイルやPDFファイルも開いて閲覧可能。



連絡先やカレンダーも同期できる。カレンダーは週間や月間で表示可能

テザリング機能をビジネスシーンで活用

HTC EVO WiMAXの最大の特徴は、やはりWiMAX回線が利用できること。テザリング機能だ。テザリング機能を利用すれば、外出先でPCからインターネットに接続する時などに利用することが可能で、WiMAXの高速回線なら大容量のファイルのダウンロード/アップロードも快適だ。また、複数端末から接続できることを活かして、他の人にもWi-Fiルーターとして使ってもらい、ネット環境のない喫茶店などでミーティングを開くことも可能だ。



最大で8台の端末からHTC EVO WiMAXに接続できる

独自UI「HTC Sense」を活用

HTC EVO WiMAXには、HTC独自のUIや機能を体験できる「HTC Sense」が組み込まれている。HTC Senseの「シーン」を利用することで、壁紙などのホーム画面のレイアウトを簡単に切り替えることが可能だ。シーンには、「ビジネス」や「ソーシャル」や「オフタイム」などが用意されており、それぞれのテーマに沿ったウィジェットや壁紙などがプリセットされる。カスタマイズして、オリジナルのシーンを作成することも可能だ。



あらかじめいくつかのシーンが用意されている。シーンで「ビジネス」を選択すると、完全な画面がこうになる

このほか、会議中にテーブルに置いておいた着信中のHTC EVO WiMAXを裏返しにするだけで、着信音がストップするというユニークな機能も搭載する。打ち合わせ時や食事中など、すぐに電話に出られない時に役立つ機能だ。



打ち合わせ中などで電話がかかってきた場合、画面を裏返しにすれば、着信音を消すことが可能

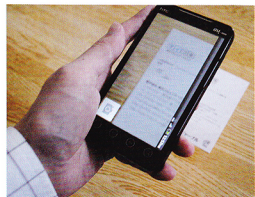
地図アプリと乗換案内

外出の多いビジネスマンにとって必須とも言えるのが地図アプリや乗換案内アプリ。新しい取引先やセミナー会場などに向かう時には、目的地への経路の下調べが必要となるが、そこで地図アプリや乗換案内アプリが活躍する。HTC EVO WiMAXであれば、これらのアプリを約4.3インチの大画面で操作できる。まずは、HTC EVO WiMAXにプリインストールされているGoogleマップから紹介しよう。使い方は簡単で、「マップ」のアイコンをタップすれば、Googleマップが起動。GPSで自身の位置情報を検出し、現在地周辺の地図を表示できる。現在地や指定した地点から目的地への経路検索も利用可能で、地図の検索も文字入力のほか、音声入力にも対応する。



ビジネスシーンで活躍する Androidアプリ

最後に、ビジネスシーンで活躍するAndroidアプリの一例として「Bizarroid Lite」を紹介する。このアプリを使えば、名刺をカメラでスキャンして内容を読み取り、そのままアドレス帳に追加することが可能だ。仕事で名刺交換する機会が多い人は、HTC EVO WiMAXで名刺を管理するのも良いだろう。



Bizarroid Liteでスキャンした名刺をHTC EVO WiMAXのアドレス帳に登録



体験後記

HTC EVO WiMAXは、端末のプリセット機能だけでなく、十二分にビジネスシーンで活用することができる。これに加えてAndroidマーケットから好みのアプリをダウンロードすることで、さらに強力なビジネス端末にグレードアップすることも可能だ。無料でもかなり便利なアプリも多いので、ぜひいろんなアプリをインストールして試してみたい。

もっと詳しく→



WiMAXとテザリングで常に快適なネットワーク環境を確保できる。

HTC EVO WiMAX X 世界を知るエキスパート

ヘビーユーザー視点で「HTC EVO WiMAX」をチェックする

WiMAX接続やテザリングなどのHTC EVO WiMAX独特のユニークな機能に焦点をあて、ヘビーユーザーの視点から端末を紹介していく。

HTC EVO WiMAXは、米国ではHTC EVO 4Gの名称でSprint-Nextelから2010年春に発売された製品だ。同社のCDMAベースの3Gネットワークに加え、提携先であるClearwireのWiMAXネットワーク「Clear」を利用してできる点が特徴となる。日本版のHTC EVO WiMAXも、KDDI子会社であるUQコミュニケーションズが提供する「UQ WiMAX」に対応し、同ネットワークのエリア内でWiMAXサービスが利用できる。回線を別の事業者から一括購入して自社ユーザーに提供するというスタイルは、Sprintとauで共通だ。



米国で発売されたHTC EVO 4G

スペック的にみればHTC EVO WiMAXは、4.3インチの480×800ピクセルのTFT液晶タッチパネルに、1GHz駆動のQualcomm QSD8650(Snapdragon)、搭載メモリは512MB、OSのバージョンはAndroid 2.2といった内容。そして最大の特徴となるのがWiMAXと3Gのデュアルモードでの**テザリング**への対応だ。



左) Wi-FiテザリングとWiMAX機能がHTC EVO WiMAX最大の特色。右) テザリングの設定項目。複雑なパスワードを設定しておく必要。この設定アプリをホーム画面上に配置することで設定画面に素早くアクセスできる

これにより、1つの回線を複数の端末で共有したり、本来であれば3Gなどの接続機能を持たないPCなどのデバイスを、テザリング対応端末を使うことでこ

でもインターネットに接続させることが可能になる。一種のモデムやルーターのようなものだが、HTC EVO WiMAXでは30回線だけでなくWiMAXにも対応しており、より高速度な回線を複数端末で共有することが可能になっている。

WiMAXとテザリングの予備知識

HTC EVO WiMAXでは通常のauのポケット通信料金に加え、**月額525円**をプラスすることでWiMAXが利用できるようになっている。これにより、WiMAXを利用できるエリアではWiMAXを、WiMAX圏外のエリアでは3Gを利用することで、定額かつ快適なネットワーク環境を利用できる。

ただし、テザリングについてはいくつかの注意点が。まずWiMAXから3G、あるいは3GからWiMAX接続に移行する際に、ネットワークの接続セッションがいったん切断される点だ。WiMAXと3Gは別会社が運営する別のネットワークのため、当然といえば当然なのだが、これによってダウンロードがいったん停止したり、ストリーム放送が中断する。インスタントメッセージャー(IM)の接続が遮断されるといった現象が発生する。テザリングを行っているHTC EVO WiMAXではともかく、それに接続するPCなどではこの状態を把握できないため、再度接続し直すといった手順が必要だ。つまり移動中でWiMAX圏内外を頻繁に出入りする状況、あるいはWiMAXの電波が弱く接続が安定しないという場合は、テザリングする際に注意が必要となる。もしくは、接続が不安定になることを見越してあらかじめWiMAX接続を切断しておき、必ず3G接続なるように調整しておくのも手だ。

テザリングについてもいくつか注意したいのは、バッテリー消費が激しいことだ。HTC EVO WiMAXのWi-Fiテザリングを常時オンの状態で、満タから4~5時間程度でバッテリーが空になる。そのため、外出時には予備または外部バッテリーがほぼ必須だ。オスラムはエネループのMobile Boosterで、特に大容量タイプの**「KBC-L2BS」**をオススメしたい。



バッテリー残りが10%を切るとアラームが鳴り、最後は完全に自動的に本体の電源が落ちる。この状態になるとバッテリーが完全に「燃焼」したとしても、本体を起動直後にすぐに再度電源の状態へと移行するの。すぐに充電を開始しよう



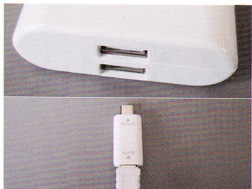
writer Junya Suzuki

アスキー(現アスキーメディアワークス)での雑誌編集を経て、「@IT」「現アスキーメディア」の立ち上げに参画した後、速米を機に独立。得意分野はネットワークとセキュリティで、イベントレポートやインタビューを行う。



バッテリー駆動時間が短いと感じたら、エネループのMobile Booster [KBC-L2BS]がおすすめ。駆動しながら充電も可能

これ)でHTC EVO WiMAXをおよそ1.8回分フル充電可能で、1日の使用には十分すぎる。またPCを接続するときなどは、できるだけPCのUSBポートにHTC EVO WiMAXを接続して充電しながら利用するようにしたい。充電しながらテザリングで電気を消費し続けるため、なかなか充電が進まないと思うが、少なくともバッテリーが残り続けることはないのだから充電するケースをつけておくといだろう。



KBC-L2BS、AC充電ケーブルのほか、USBケーブルも付属しており、USB経由でのエネループ本体の充電のほか外部装置への電源供給も可能。Micro USBコネクタも付属しているの、そのままHTC EVO WiMAXに接続できる



体験後記

HTC EVO WiMAXをテザリングなど高負荷で利用したいと考えるユーザーであれば、ぜひKBC-L2BSの購入をオススメしたい。ほかにも外部バッテリーはあると思うが、そのときは大容量タイプのものを選択してほしい。なおWeb上の体験記で、実際にバッテリー駆動時間をテストしているので、興味のある方はチェックしてほしい。

もっと詳しく→



htc
quietly brilliant